

スキルアップ
人材育成

“1時間集中！”設計力向上セミナー

『間取りがつけれる人材の育成』をお考えの方に、おススメ！

ポイント プランをつくってからの構造検討ではない！

2025年

9/5(金)

15:00~16:10
ライブ配信

【無料セミナー 開催！】

「意匠」と「構造」を同時に考える『プランづくり』

■『遊のブロックプラン®』で意匠と構造を同時に計画する！

■これを使うと良い！間崩れのないプランニング『3+1のルール』

「施主さんの要望を叶えようとしたら、建物規模が大きくなって予算オーバーしてしまう」、「上下階の面積バランスが悪くて間崩れをおこす、構造が安定しない」、「思った外観デザインにならない」などの、お悩みをよくお聞きします。本セミナーでは、これらを解決し、【契約率を高める、これからの時代に合ったプランニング手法】を紹介します。『間取りがつけれる』営業・設計の人材育成をご検討中の方、ぜひご参加ください！必見のセミナーです！

プログラム

- はじめに(会社紹介)
 - 木造の仕様規定から考える！意匠と構造の計画
 - 意匠と構造を同時に計画する「3+1のルール」
 - 10月開催！プランナー育成講座のご案内
 - まとめ
- ※プログラムは変更となる場合があります

日時

2025年
9/5(金) 15:00-16:10
(70分)

定員

50名
(要予約)

開催
方法

オンライン(ライブ配信)

参加費

無料

お申込みはこちらから
<https://lbyu-net.com/bunkaza/>
住まいの文化座 検索



ブロックプランの家

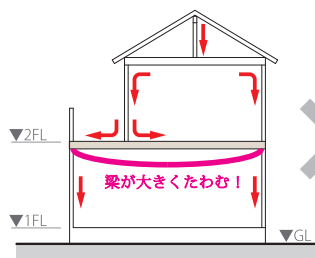
強くたくましい家＝間崩れのない家。

『間崩れ』とは…

間崩れとは、モジュールの寸法を部分的にくずした現象のことですが、本書では、「1階の間取りの上に、2階の間取り（部屋など）の壁や柱が乗らないもの」を間崩れと呼んでいます。下記の事例を参照ください。

間崩れの例

屋根や2階部分の荷重が、直下に壁がないことで、一点に集中します。大きな梁が必要となります。

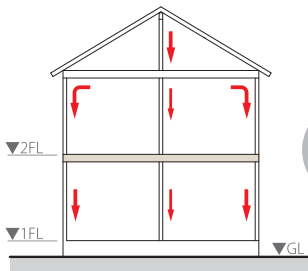


断面

1階に壁（柱）がないために
「力」が梁に集中！

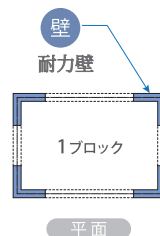
ブロックプランの例

1階と2階の壁のラインをそろえることで、荷重が分散され構造的にも安心です。



断面

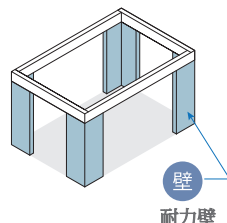
上下階の壁（柱）を合わせることで
「力」が素直に地盤へ伝わる！



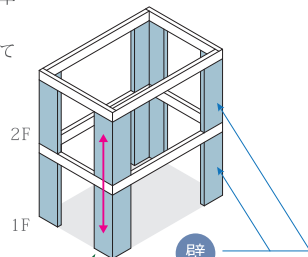
平面

耐力上有効な壁(耐力壁)

各一辺の隅角部には、耐力上有効な壁を可能な限り設ける事を基準とします。これにより、構造上より安心して住まうことができます。



耐力壁



上下階の
耐力壁を
合わせる！

耐力壁

力(荷重)を2階から1階へと無理なく伝えるためには、上下階の壁を描えることが大切です。ムダのない、スムーズな力の流れが安定した建物をつくります。